

ひとり1改革運動

「仕事のやり方を見直そう」改革賞

飲料用自動販売機の設置者の公募制導入による歳入確保

【経営管理部 管財課】



県有施設に設置されている自動販売機については、これまで、条例で定められた使用料を徴収していましたが、地方自治法の改正により、庁舎等の余裕床を貸付けることが可能になりました。

そこで、自動販売機の設置スペースを貸付けることとし、設置者は、貸付料の最高額提示者とする公募を実施することとしました。

その結果、施設のサービス水準を低下させることなく、年間1億6,700万円、使用料比約106倍の歳入の確保が可能となりました。

取組にあたって工夫した点は？

- ・全庁的かつ県内全域での実施となるため、各施設担当者を対象とした説明会を実施し、Q&A集を作成・公表するなど、公募の考え方や手続方法などの情報を共有化しました。
- ・県HPで一括して公告することで、各施設での公告事務を軽減し、事業者への公募物件周知を徹底しました。
- ・公募条件や設置場所について、各施設の管理者に任せることで、現場の事情に沿う内容で公募できるようにしました。

効果として実感している点は？

- ・23年度に公募した72施設、222台について原則3年間の貸付契約が成立し、年間1億6,700万円(平成23年度使用料比約106倍)の歳入確保が実現しました。
- ・未利用地の売却収入等の一過性のものではなく、継続的安定的な財源として有意義であったと感じています。
- ・1回の公募台数が多かったことと、使用料比106倍の歳入が確保できたことで、マスコミや他の自治体から反響がありました。



【公募制を導入した公有施設の自動販売機】

今後に向けてさらなる取組は？

- ・今後も引き続き、条件の整った施設から公募に切り替え、公募による貸付の拡大を図ります。

静岡県立大学 西野教授から一言

制度改正を機に自動販売機の設置スペースの貸付料を公募形式で最大化し、使用料の時の106倍もの恒常的収入増を図ったことは、財源が厳しい折に大きな成果である。しかも手続きの標準化や公告事務の軽減化を図るなど、「入るを量りて出ざるを制す」経営感覚は見事である。さらに利便性への配慮など、現場の裁量を尊重している点も評価したい。

ひとり1改革運動

「仕事のやり方を見直そう」改革賞

検査成績書の作成方法の見直し

【環境衛生科学研究所 微生物部】



食品の行政検査の結果を通知する検査成績書の作成を、当所ではアクセスで行っていました。しかし、アクセスで作成すると、手順が煩雑で入力ミスを起こしやすかったので、作業をよりシンプルかつ簡便にできないかと考えました。

そこで、保健所の細菌検査課は検査成績書を作成する際に、エクセルを使用している点に着目し、エクセルで当所の業務内容に適したバージョンを作成するとともにマニュアルも用意しました。

その結果、入力ミスが減り、60分かかっていた作業を15分に短縮することができました。

取組にあたって留意した点、苦労した点は？

- ・保健所と当所では検査内容が異なり、管轄地域も県内全域を担当するため、プログラムをシンプルに作り変えることに重点を置きました。
- ・作成の過程で周囲の意見を聞きながら試行錯誤を重ね、プログラムを完成させました。

取組の効果として実感していることは？

- ・短縮された作業時間を個々の研究業務に振り替えることが可能となり、限られた時間を有効に使えるようになったのは大きな収穫でした。
- ・検査成績書の作成手順書を見直し、手順を「見える化」したことで、担当者以外の者にも作業経過が把握しやすくなるという相乗効果が生まれました。

検査年月日	平成24年6月17日	平成24年6月17日	平成24年6月17日	...
検査内容
検査者住所
検査者氏名
検査者区分
検査者住所
検査者氏名
検査者区分

【エクセルを使ったプログラム】

残された課題への対応、取組の有効活用は？

- ・アクセスの利点であった統計業務に係る部分をどのような方法でカバーするかが課題です。
- ・保健所と共通のプログラムにしたことで、トラブル時の早期復旧が可能となります。

静岡産業大学 大坪教授 から一言

情報化時代の改革のアプローチ。エクセルで業務内容に適したバージョンを作成して60分の作業を15分に短縮したのは着目すべき成果。シンプルに変化→進化させる基本手法が生きています。

ひとり1改革運動

「仕事のやり方を見直そう」改革賞

医療機関情報のデータベース化 【こども家庭相談センター 総合支援部 (静岡県発達障害者支援センター)】



当センターでは、子どもから大人まで発達障害に関する様々な相談に対応しており、発達障害の診断や相談ができる機関の問い合わせが、年間400件程度寄せられています。しかし、医療機関に関する詳細な状況が分からず、対応が難しいことがありました。

そこで、県内の医療機関に発達障害の診療に関するアンケート調査を実施し、データベースに情報を一元化することにしました

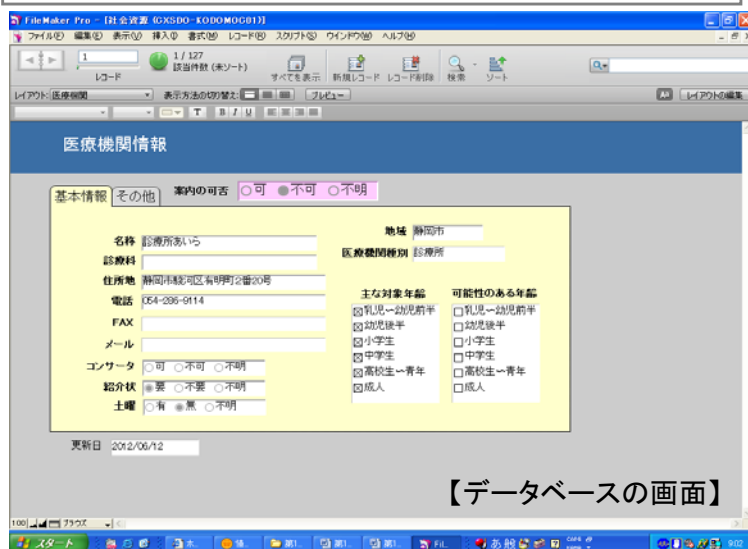
その結果、スタッフ間で情報を共有できるようになり、相談者を待たせることなく、相談者が知りたい情報を迅速に提供できるようになりました。

取組にあたって工夫した点は？

- ・業務の中で得られた最新の情報を反映させるため、スタッフが随時更新できるようになりました。また、検索機能を設けることで、地域、年齢層、診療科などさまざまな絞り込みを可能にしました。
- ・東部総合庁舎内に本年度から開設した発達障害者支援センター(東部)とデータベースを共有することにより最新の情報を共有することが可能となりました。

取組にあたって留意した点、苦労した点は？

- ・様々な理由から、発達障害診療を広く公開していない医療機関があるため、紹介の方法や情報提供の仕方を医療機関に尋ね、スタッフ間で共有することに留意しました。
- ・電話を受けながら検索できるシステムや、発達障害者支援センター(東部)とデータベースの共有するための、システムの構築に苦慮しました。



今後に向けてさらなる取組は？

- ・医療情報だけでなく、地域の支援機関など、様々な社会資源の情報についてデータベース化し、適切な情報提供ができるよう取組んでいくとともに、必要な情報を随時更新していきたいと考えています。

静岡大学 日誌教授 から一言

医療機関に関する情報を収集し、それをデータベース化することにより、相談者の必要にあった情報を提供できる仕組みが整ったという点で、とても意義深い取り組みだと考えられます。そして、そのデータが一元的に管理され、スタッフ間で情報の共有化が図られたことも大切なことであったと思います。

ひとり1改革運動

「仕事のやり方を見直そう」改革賞

歳計現金の運用の改善に向けた取組

【出納局 会計管理課】



欧州の信用問題等による景気の低迷で、歳計現金の運用環境が悪化する中、昨年度並みの運用益を確保するには、資金運用の更なる改善が必要でした。

そこで、出納整理期間の支払準備金の削減や、短期資金の運用を利回りの高い債券取引に替えるなど、歳計現金の運用益の向上に努めました。

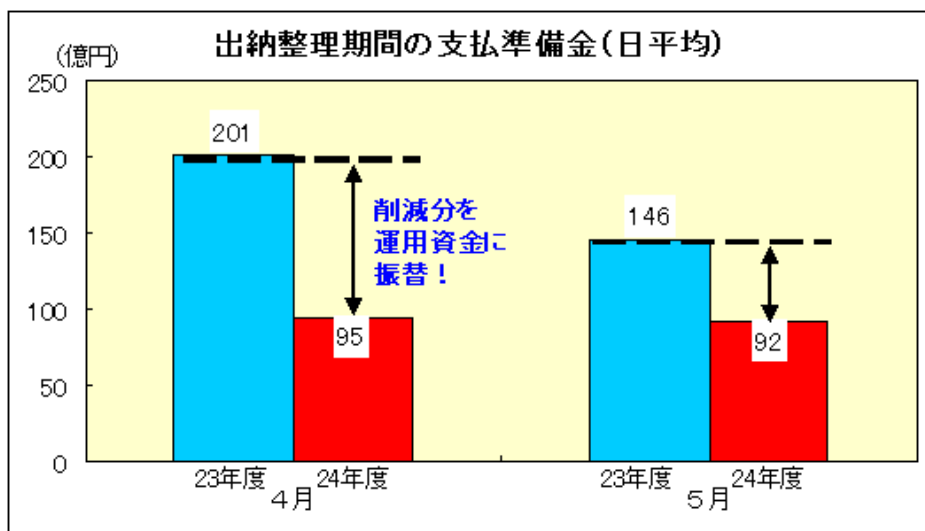
その結果、1,902千円の運用益を上げることができ、効率的かつ効果的な業務改善ができました。

取組にあたって工夫した点は？

・支払準備金の削減について、「出納整理期間の支払準備金を半減する」という高めの目標をたて、そのためにはどうすればいいか、という観点で日々の取組を進めました。

取組にあたって留意した点、苦労した点は？

・資金繰りの安全性を損なわないように留意し、資金計画の収支見込額の丹念な精査と、余剰資金のきめ細かな運用を行いました。
・預金レートや債権取引レートの動向を注視し、レートの高い債権取引の増加につなげました。



取組の効果として実感していることは？

出納整理期間の支払準備金を、前年度同期と比較して7,963百万円/日(▲46.0%)削減でき、かつ、短期間の預金を利回りの高い債券取引に替えたことで、効率的かつ効果的な業務改善ができたと感じています。

静岡産業大学 松本教授 から一言

支払準備金の適正水準の維持と資金運用は、日頃からの目標意識の高さと資金計画収支見込についての丹念な精査とがあつてこそ実現できるものです。この事例は、業務に対する丁寧さ、緻密さが改善の基本であることを思い出させてくれる好例と思われま

ひとり1改革運動

「仕事のやり方を見直そう」改革賞

部長、部長代理、局長、課長 挨拶データベースの構築

【経済産業部 就業支援局】



毎年5月から6月にかけては、知事や副知事、部長や局長が出席する関係団体などの総会がいくつも開催されるため、就業支援局では、「挨拶文」の起案文書を何件もチェックする必要があり、そのたびに同じような手直しを加えていました。

そこで、各課で、既に決裁になった「挨拶文」を就業支援局のデータベースに貼り付け、起案者がそれを参照して原案を作成できるようにしました。

その結果、データベースを参照することで、挨拶文にタイムリーな話題を盛り込むことが容易となり、関係課との協議も短縮できることから、作業時間が年間1,500分短縮できました。



【起案文書の山】



【挨拶データベース】

取組にあたって工夫した点、苦労した点は？

- ・最初は知事挨拶、副知事挨拶といった区分けで掲載しましたが、使い勝手をよくするため、テーマごとに文例を抽出し、作成例として掲載することにしました。
- ・仕事が楽に進められるよう、「みんなのため」というスタンスで、就業支援局内に協力を呼び掛けました。

取組の効果として実感していることは？

- ・誰もがデータベースで文例を参照できるようになり、起案者のみならず、審査する班長や課長などを含め、局内全体で省力化につながりました。

静岡産業大学 大坪教授 から一言

データベースの新しい活用法。役所の形式的で文切形の挨拶文に血が通うようになる。役所の文書に「温かさ」や「やわらかさ」を感じさせるようにする工夫の心が感じられる。心の視点を感じさせるよい改革。

ひとり1改革運動

「仕事のやり方を見直そう」改革賞

「事業所による主体的な施設の維持管理」を目標とした、立入検査 &リーフレット配布の環境啓発の取組【東部健康福祉センター 生活環境課】



当センターは環境保全行政を担当しており、定期的に工場や事業場への立入検査を実施しています。

しかし、過去に指摘をした項目について再度指摘をすることがあり、法律が周知徹底されているとは言えない状況でした。また、立入検査の数も多く、説明に時間がかかっていました。

そこで、立入検査により指摘することの多い項目について、簡潔にまとめたリーフレットを作成し、立入検査の際に配布することにしました。

その結果、リーフレットを用いて短時間で丁寧な説明をすることが可能となり、工場や事業所の理解が進みました。

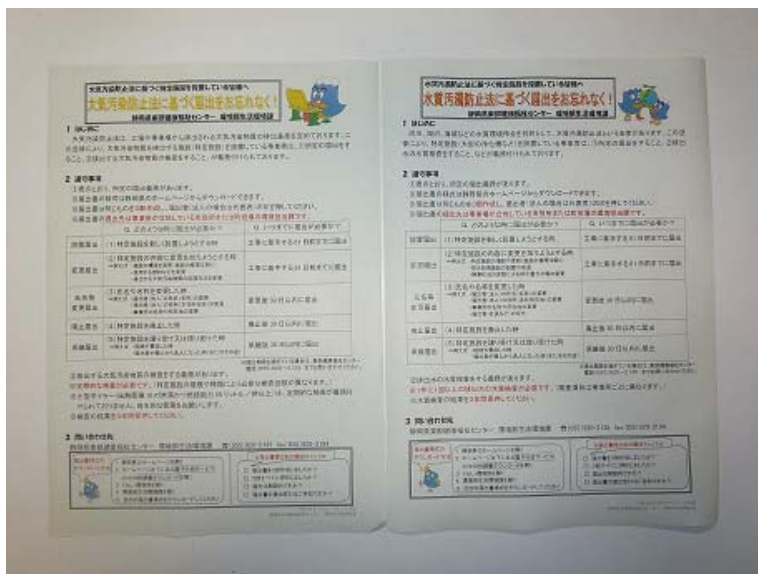
取組にあたって工夫した点は？

・法律が周知徹底されない原因の多くは、工場や事業場の担当者が代わる際に、業務の引継ぎがされていないことによるものでした。

そこで、「見やすい・わかりやすい・繰り返し見てもらえる」ことを重視し、リーフレットをファイルに綴じたり、ポスターのように壁に貼ったりしやすいように、A4サイズ1枚のカラー印刷で作成しました。

取組にあたって留意した点は？

・リーフレットを活用し、要点を絞った丁寧な説明を心がけました。



【啓発用リーフレット】

取組の効果として実感していることは？

・工場や事業場の担当者から、「わかりやすい」、「上司への説明に活用したい」と好評を得ています。
・工場や事業場へ年間300件程度立入検査を行っていますが、1件当たり3分、年間900分の時間短縮につながりました。

静岡大学 日誌教授 から一言

立入検査の対象となる工場や事業場が、法律の内容を理解し検査が円滑に進むことはこれまでの課題でしたが、それを克服するため、検査のポイントを簡潔にまとめたリーフレットを作成した点が良かったと思います。そして、このリーフレットが検査時間の短縮に結びつくなどの効果をあげている点も評価できます。